

厚生労働省 薬系技官（総合職） 政策セミナー 第2回

「(平成生まれの) 若手が作る令和の安全対策」

令和2年12月12日(土) 14時より厚生労働省内で第2回目

となる政策セミナーを開催いたしました！！！！

ここからは1年目の私中村より、政策セミナー当日の様子についてレポートさせていただきます！今回の政策セミナーは19名のみなさんにご参加いただきました。貴重なお休みにも関わらずご参加いただきありがとうございました！

まずは政策セミナー講演パートですが、はじめに、医薬安全対策課課長補佐より

- ・ 医薬安全対策課とは？
- ・ 医薬品の安全対策のキホン

その後、若手職員3名より、

- ・ 薬機法改正（添付文書電子化など）について
- ・ 添付文書改訂について
- ・ ICH（医薬品規制調和国際会議）について
- ・ MID-NET（医療情報データベース）について

に関する日々の業務について説明しました。

厚生労働省でどんな政策を行っているかは調べれば出てくる部分も多くありますが、実際職員が何をしているかはなかなか聞けないお話だったのではないのでしょうか。

開催日時：令和2年12月12日(土)
14:00～17:00
開催場所：厚生労働省内

14:00～14:10
おあいそ
厚生労働省 医薬安全対策課
課長補佐 堀川 智規

厚生労働省 薬系技官（総合職）
政策セミナー 第2回
（平成生まれの）若手が創る
令和の安全対策

第3部：ディスカッション
～令和時代の安全対策に向けて～
16:20～17:00
コーディネーター：益山先生
参加者：治田、藤井、中村（堀川）
セミナーにご参加の皆さま

第1部：若手職員から「俺たちの活躍」
14:00～14:40
美えたい？なら変えればいい「薬機法」
治田 義太郎（入省6年目）

第2部：アカデミアからの目線
15:50～16:30
「薬機法制度の変化とこれからの安全対策」
東京薬科大学 薬事関係法務研究室
教授 益山 光一先生

14:40～15:10
世界に飛び立つ機体の発着、「安全対策と国際協定」
藤井 義瑛（入省5年目）

15:10～15:40
今のままで満足できない「RXWD（リアルワールドデータ）の活用」
中村 有沙（入省1年目）

【申込方法】
12月9日(水) 12時までにメールしてください！
(申込み多数の場合早めに締め切ることがあります)

連絡先：医薬・生活衛生局総務課 太田
recruitmlwh@mhwl.go.jp
件名：政策セミナー（第2回）の申込み【氏名】
本文：①氏名（ふりがな） ②学年
③所属（学科まで）

続いて「アカデミアからの目線」として、薬機法制度の変化とこれからの安全対策について東京薬科大学教授 益山光一先生よりご講演いただきました。薬機法の変遷から公務員として、行政で働くにあたってどんな目線、心構えが必要かを益山先生の視点からご講演いただき、若手職員の私も大変勉強になりました！



休憩を挟んでからは参加者のみなさんお待ちかね！ディスカッションパートです！医薬安全対策課以外の若手職員も交えて、セミナーにご参加のみなさまと「一般用医薬品のリスク区分について」より良い制度にするにはどうすべきかを考えました。今回のディスカッションではグループごとに発表を行いました！行政では

よく、「ポンチ絵」と呼ばれるパワーポイントの説明資料を作成するのですが、ポンチ絵を実際にホワイトボードに作成し、それに基づいて発表を行いました。「ポンチ絵」という言葉を初めて聞いた参加者の方も多かったのではないのでしょうか。ちなみに私もポンチ絵は入省してから知りました。霞ヶ関に入ってから覚えた「霞ヶ関用語」は多々ありますが、そのお話は次回以降のセミナーに参加した際にでも聞いてください、、、

発表の後には益山先生から各グループに対して講評がありました。リスク区分については身近な話題なので、薬学部以外の参加者のみなさんにも楽しんでいただけたのではないのでしょうか。

セミナー後には各グループにいた若手職員に質問タイムがありました。参加者のみなさんからは業務についてだけでなく、公務員試験対策についての質問が多かった印象です。入省した職員でも人によって試験対策が違ったのも印象的でした。薬系技官についてはネットで得られる情報も少ないので政策セミナーは職員から生の声を聞ける貴重な場でもあります。みなさんも少しでも興味があれば、政策セミナーに参加してみてください！！！！